

神奈川県警察の「手話リンク」 県内すべての交番・駐在所等で 全国初の運用開始

11月12日(水)、警察官が不在の交番等でも手話言語で相談できる仕組み「手話リンク」が、全国で初めて神奈川県で運用開始しました。この「手話リンク」運用開始のセレモニーが横浜市の瀬谷駅前交番で行われ、山本瀬谷警察署副署長、坂井衆議院議員(元国家公安委員会委員長)、大沼日本財団電話リレーサービス理事長、河原神奈川県聴覚障害者連盟理事長や、市川県議会議員、田村県議会議員等多くの関係者が出席しました。



「手話リンク」運用開始のセレモニー ー瀬谷駅前交番ー

手話言語を使用する聴覚障害者にとって「交番に行っても誰もいなくて電話が置いてあるだけ」という問題は長年の課題でした。緊急でなくても道案内や落とし物の相談など、電話ができないため、対応してもらえませんでした。その課題に応えるのが「手話リンク」です。神奈川県警察は11月1日から、県内すべての交番・駐在所にQRコードを掲示し、スマホで読み取るだけで手話通訳オペレータとビデオ通話ができる運用を開始しました。オペレータを通じて警察官と手話言語で相談でき、安心して利用できます。12日のセレモニーには多くの関係者が参加し、「きこえなくても取り残されない社会へ一歩前進」との声が聞かれました。

【神聴連】



聴覚障害者等の方のための「手話リンク」サービスについて/神奈川県警察
www.nhkcc.pcc.kanagawa.jp

神奈川県警察からのお知らせ

～神奈川県警察地域総務課～

令和7年11月1日、県内全ての交番・駐在所等において、一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供している「手話リンク」の運用を開始しました。

聴覚障害者等の方が、交番・駐在所等を訪れた際、勤務員が不在の場合は、交番等に掲示されているQRコードをスマートフォン等で読み込んでいただくことにより、手話通訳オペレータを通じ、管轄警察署の職員と会話することができます。

「手話リンク」を利用した会話イメージ
 ※交番等に勤務員がいる場合は使用できません。

勤務員が不在の交番・駐在所等

不在表示板

聴覚障害者等の方

ビデオ通話(手話通訳)

音声通話

手話通訳オペレータ

管轄警察署

交番等に掲示されたQRコードをスマートフォン等で読み取ってください。手話通訳オペレータとつながります。

手話通訳オペレータを通じて管轄警察署の職員と会話することができます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。